

全国精神保健福祉業務研修会開催状況

回数	第13回	第14回
開催期日	平成元年3月2日～3日	平成2年3月1日～2日
会場	横浜市西区 神奈川県社会福祉会館	神奈川県 箱根ホテル小涌園
研修テーマ	保健所精神保健活動のこれからの展望	'90年代の地域精神保健～政策とその活動～
記念講演	<p>■シンポジウム 「保健所精神保健活動のこれからの展望」</p> <p>①国立精神神経センター精神保健研究所 精神保健計画部長 吉川 武彦</p> <p>②代々木病院精神科部長 中沢 正夫</p> <p>③国立公衆衛生院精神保健室長 桑原 治雄</p> <p>④東京都小平保健所 谷口 啓子</p> <p>⑤大阪枚方保健所 石神 文子</p> <p>司会 日本社会事業大学教授 岡上 和雄</p>	<p>■特別講演 「'90年代の地域精神保健」 東京都立中部総合精神保健センター 菱山 珠夫</p>
プログラム	<p>■分科会 I.緊急・救急ケア分科会 II.保健所デイケア分科会 III.地域作業所分科会 IV.これからの地域資源分科会 V.家族へのアプローチ分科会 VI.痴呆老人分科会 VII.相談員・保健婦役割分科会</p>	<p>■分科会 I.緊急・救急ケア分科会 II.保健所デイケア分科会 III.地域作業所分科会 IV.これからの地域資源分科会 V.家族へのアプローチ分科会 VI.痴呆老人分科会 VII.相談員・保健婦役割分科会</p>
内容	<p>■全体会及び分科会 「精神保健相談員に求められる専門性とは」</p> <p>①個別援助技術 横浜市泉保健所 児玉三千江</p> <p>②集団援助技術 茅ヶ崎保健所 須田美代子</p> <p>③地域援助技術 川崎市幸保健所 田中 英樹</p>	<p>助言者 埼玉県立精神保健総合センター 白石 弘巳 津田沼法律事務所 酒井 幸 川崎市リハビリテーション医療センター 中川 正俊 共同作業所全国連絡会 藤井 克徳 日本社会事業大学 岡上 和雄 国立精神神経センター精神保健研究所 大島 巖 聖マリアンナ医科大学 今井 幸充 横浜市衛生局 加瀬 昭彦</p>
来賓等	<p>助言者 ①明治学院大学教授 畠山 龍郎</p> <p>②国立精神神経センター精神保健研究所 社会福祉研究室長 松永 宏子</p> <p>③関東学院大学教授 谷口 正隆</p> <p>来賓 ①厚生省精神保健課長 篠崎 英夫</p> <p>②神奈川県衛生部長</p> <p>③横浜市衛生局長</p> <p>④川崎市衛生局長</p> <p>⑤横須賀市保健衛生部長</p> <p>⑥神奈川県立精神保健センター長 石原 幸夫</p>	<p>■ナイトフォーラム 「地域保健将来構想計画」「地域保健計画」</p> <p>来賓 ①厚生省精神保健課長 篠崎 英夫</p> <p>②神奈川県衛生部長（代理） 岩崎七四六</p> <p>③全国精神保健センター長会長（代理） 東京都立中部総合精神保健センター 菱山 珠夫</p>
参加者数	306名	287名
備考	後援 神奈川県、横浜市、川崎市、横須賀市	後援 厚生省、神奈川県、横浜市、川崎市、横須賀市、全国保健所長会、全国精神保健センター長会

全国精神保健福祉業務研修会開催状況

回数	第15回	第16回
開催期日	平成3年1月17日～18日	平成4年2月6日～7日
会場	香川県高松市 高松市総合福祉会館	埼玉県 埼玉県立精神保健総合センター 埼玉県県民活動総合センター
研修テーマ	あらためて家族の援助を考える	精神保健業務の確立をめざして ～あらためて保健所の地域責任性を考える～
記念講演	■特別講演 「あらためて家族の援助を考える」 香川県精神保健センター所長 花岡 正憲	■特別講演Ⅰ 「精神保健の展望」 厚生省保健医療局精神保健課長 廣瀬 省
プログラム	■実践報告 「家族への援助活動の実際」 ①香川県土庄保健所 久利 文代 ②大阪府枚方保健所 山田 喜一 ③品川区立荏原保健所 遠藤 悦夫 司会 東京都立精神保健センター 藤野 邦夫 川崎市 幸保健所 田中 英樹	■特別講演Ⅱ 「精神医療の展望」 全国自治体病院協議会理事 道下 忠蔵
内容	■講演 「個人への援助・家族への援助・システムへの援助：コンストラクティブ・システム論的カウンセリングの基礎」 ニューヨーク州立サウスビーチ精神科センター 一地域住居治療プログラム総責任者 遊佐 安一郎	■分科会・全体会 Ⅰ「法に基づく精神保健相談と訪問業務の実際と課題」 ①横浜市港北保健所 内田 太郎 ②埼玉県川口保健所 瀧 誠 ③千葉県松戸保健所 高田征四郎 Ⅱ「生活支援活動の実際と課題」 ①埼玉県狭山保健所 塚本 哲司 ②栃木県鹿沼保健所 半田富美子 ③新潟県新津保健所 宮崎 敏子 ④川崎市幸保健所 田中 英樹 Ⅲ「家族教育・家族会援助の意義と方法」 ①横浜市泉保健所 浜田 房子 ②京都府亀岡保健所 吉村 夕里 ③茨城県水海道保健所 小貫 悦子 ④東京都板橋区志村保健所 長谷川行雄 Ⅳ「保健所とセンターの連携」 ①埼玉県朝霞保健所 戸部 勝代 ②千葉県木更津保健所 岩崎 真一 ③石川県精神保健センター 荒田 稔 ④愛知県精神保健センター 坂平貴美子
来賓等	■ワークショップ 「1対1のコミュニケーション：複数対1のコミュニケーション」 遊佐 安一郎 来賓 ①厚生省精神保健課課長補佐 南野 肇 ②香川県環境保健部長 三木 佳之	来賓 ①厚生省精神保健課長 廣瀬 省 ②埼玉県衛生部長 ③全国精神保健センター長会長 ④全国保健所長会長（代理）県会長
参加者数	192名	277名
備考	後援 厚生省、香川県、全国保健所長会、 全国精神保健センター長会	後援 厚生省、埼玉県、全国保健所長会、 全国精神保健センター長会

全国精神保健福祉業務研修会開催状況

回数	第17回	第18回
開催期日	平成5年1月13～14日	平成6年1月27～28日
会場	東京都江東区 特別区職員研修所	千葉市 千葉市総合保健医療センター
研修テーマ	活動する精神保健と保健所の新たな取り組み ～こころゆたかな地域をめざして～	地域精神保健対策の基本的なあり方とこれからの 地域精神保健活動
記念講演	■実践報告 「ニーズの多様化と保健所活動」 演者 東洋大学教授 窪田 暁子	■特別講演 I 「新しい精神保健法の施行とこれからの行政 施策の展望」 厚生省精神保健課長補佐 西田 秀樹 II 「これからの精神保健行政施策への期待と 注文」 中央大学教授 岡上 和雄
プログラム	■分科会 第I 生活支援体制づくりと保健所の役割 第II 緊急対応と保健所の役割 第III 新たな地域ニーズと保健所の役割 第IV 国際社会と精神保健の課題	■パネルディスカッション 「地域保健対策のあり方とこれからの保健所 精神保健活動」 パネラー ①国立公衆衛生院 岩永 俊博 ②愛知県立大学文学部社会福祉学科 岩田 泰夫 ③全国授産施設協議会 調 一興 ④全国精神障害者社会復帰施設協議会 新保 祐元
内容	■精神保健基礎講座 「新しく相談員になった人のために」 ■フォーラム 「保健所精神保健活動の現状と課題」 ■ワークショップ 「アルコール家族教室」 「生活技能訓練（SST）」 ■シンポジウム シンポジスト ①全家連 池末美穂子 ②遠藤嗜癖問題相談室 遠藤 優子 ③飯田病院 吉川 公章 ④葛飾区西福祉事務所 竹澤 次郎	来賓 ①顧問、藤風協会理事長 大谷 藤郎 ②顧問、中央大学教授 岡上 和雄 ③厚生省精神保健課長 平良 専純 ④千葉県衛生部長 堺 宣道 ⑤千葉県保健所長会長 小倉 敬一 ⑥千葉県環境衛生局長（代理） 千葉市保健所長 今野 邦雄 ⑦全国精神保健センター長会長（代理） 千葉県精神保健センター長 若菜 坦 ⑧日精協千葉県支部長 仙波 恒雄
来賓等	来賓 ①厚生省精神保健課長補佐 広畑 弘 ②東京都精神保健課長 分島 徹 ③都立中部総合精神保健センター所長 菱山 珠夫 ④顧問、藤風協会理事長 大谷 藤郎	
参加者数	292名	338名
備考	後援 厚生省、全国保健所長会、全国精神保健 センター長会、東京都、 特別区職員研修所と共催	後援 厚生省、千葉県、千葉市、全国保健所長会 全国精神保健センター長会、（担当者研修 として千葉県、千葉市共催、報償費負担）

全国精神保健福祉業務研修会開催状況

回数	第19回	第20回
開催期日	平成6年12月1～2日	平成8年1月18～19日
会場	山梨県甲府市 山梨厚生年金会館	大阪市 大阪府中小企業文化会館
研修テーマ	新たな「地域保健法」の中で充実した精神保健活動の展開を考える	精神障害者の生活を支える ～精神保健福祉法の成立をふまえて～
記念講演	<p>■基調講演 「今、期待される保健所の精神保健活動とは」 埼玉県立精神保健総合センター総長 渡嘉敷 暁</p>	<p>■基調講演 「保健所における精神保健福祉業務の新たな課題」 厚生省精神保健課長補佐 高橋 俊之</p>
プログラム	<p>■実践報告 ①保健と福祉が統合した保健福祉センターでの精神保健活動 北九州市年長者相談コーナー 藤吉久美子 ②市町村の精神保健活動 長野県戸隠村役場保健婦 橋詰ゆき枝 ③保健所の統廃合による精神保健活動 新潟県長岡保健所 本間 寛子 ④大都市特例の適応を受ける自治体の精神保健活動 横浜市衛生局疾病対策課 本吉 究</p>	<p>■シンポジウム ①川崎市リハビリテーション医療センター 内藤 清 ②横浜市衛生局 本吉 究 ③島根県社会福祉法人桑友 武田 牧子</p>
内容	<p>■分科会 第Ⅰ 地域保健法の施行と都道府県の役割 大阪府立看護短期大学 矢内 純吉 神奈川県相模原保健所 三代 浩肆 第Ⅱ 大都市特例の進捗状況 大阪市環境保健局 村井智郁子 川崎市宮前保健所 田中 英樹 名古屋市衛生局 榊原 聡</p>	<p>■特別企画 兵庫県こころのケアセンター 藤田 昌子 兵庫県立精神保健福祉センター 麻生 克朗 堺市金岡保健所 小出 保広</p>
来賓等	<p>■パネルディスカッション 「これからの精神保健活動を考える」 ～保健所でなければならない活動、市町村からできる活動～ 山梨県大月保健所精神保健相談員 篠原正之 山梨県富士吉田市役所保健婦 藤江千歳 山梨県厚生病院ケースワーカー 水上みや子</p> <p>来賓 ①厚生省厚生技官 奥山 典孝 ②山梨県厚生部次長 丸山 善仁 ③全国保健所長会（代理） 甲府保健所長 高村 達 ④全国精神保健センター長会 渡嘉敷 暁</p>	<p>来賓 ①厚生省精神保健課課長補佐 高橋 俊之 ②大阪府環境保健部健康増進課長 高杉 豊 ③ " 精神保健室長 納谷 敦夫 ④大阪府こころの健康総合センター長 乾 正 ⑤大阪府保健所長会長 広済 幸雄 ⑥大阪市保健部医務予防課長代理 柘田 章 ⑦大阪市保健所長会副会長 西本 儀正</p>
参加者数	280名	361名
備考	後援 厚生省、山梨県、全国保健所長会、 全国精神保健センター長会	後援 厚生省、大阪府、大阪市、全国保健所長会 全国精神保健福祉センター長会

全国精神保健福祉業務研修会開催状況

回数	第21回	第22回
開催期日	平成9年1月30～31日	平成10年2月26～27日
会場	神奈川県足柄下郡箱根町「ホテルおかだ」	東京都「フロラシオン青山」
研修テーマ	新時代の精神保健福祉の構築をめざして～サービスの多様化と新たなシステムづくり～	精神保健福祉活動の未来パラダイム
記念講演	<p>■記念講演 「新時代の精神保健福祉を展望する」 埼玉県立精神保健総合センター総長 渡嘉敷 暁</p>	<p>■基調講演 「精神保健福祉活動に期待すること」 厚生省大臣官房障害保健福祉部精神保健福祉課課長 田中 慶司</p>
プログラム	<p>■シンポジウム 「新時代の精神保健福祉の構築をめざして」 ①全国精神障害者家族会連合会 滝沢 武久 ②高知県立精神保健福祉センター 竹島 正 ③川崎市宮前保健所 田中 英樹 コメンター 中央大学 岡上 和雄 コーディネーター 相模原保健所 三代 浩肆</p>	<p>■基調講演 「精神保健福祉相談員の役割～精神保健福祉士誕生の経過を含めて～」 淑徳大学教授・日本精神医学ソーシャルワーカー協会会長 柏木昭</p>
内容	<p>■一般演題発表 「精神保健福祉—私たちの実践」</p>	<p>■分科会 I 「市町村障害者計画」 講演 国立精神神経センター精神保健研究所竹島正 シンポジウム ①石川県精神保健福祉センター 加藤 佐敏 ②堺市北保健所 小出 保廣 ③埼玉県飯能市福祉部社会福祉課 原嶋 妙子</p>
来賓等	<p>■フォーラム 「サービスの多様化と新たなシステムづくり」 ①愛媛県大三島役場 管 マリハ ②静岡県中央保健所 大石 信弘 ③京都府保健福祉部 三品 桂子 指定発言者 ①やまゆり会事務局次長 広田 和子 ②神奈川県作業所連絡会事務局長 戸高 洋充</p>	<p>■分科会 II 「新保健システムにおけるプロフェッショナルの役割～精神保健福祉業務の役割を担って～」 シンポジウム ①埼玉県川口保健所 尼崎 瑞恵 ②埼玉県幸手保健所 岩上 洋一 ③千葉県木更津保健所 荒谷 令子</p>
	<p>■ワークショップ 「精神保健家族教室～企画から実施までのコンサルテーション」 ①福島県精神保健福祉センター 箭内 哲夫 ②福島県福島保健所 阿蘇 ゆう</p>	<p>■分科会 III 「いま、受診援助業務のあり方を問う～引きこもり・受診援助・住民の訴えにいかに対応すべきか～」 シンポジウム ①千葉県佐倉保健所 四方田 清 ②東京都豊島区 江口 昌克 ③神奈川県藤沢保健所 伊東 秀幸</p>
	<p>■基礎講座 I 「ひきこもりの理解と対応—その援助実践」 山梨県精神保健福祉センター 近藤 直司</p>	<p>■分科会 IV 「地域援助活動入門～作業所・社会復帰施設・法人を作る～」 講師 石神記念医学研究所 石神 文子</p>
	<p>■基礎講座 II 「ケースマネジメントの理論と実際」 埼玉県立精神保健総合センター 野中 猛</p>	<p>来賓 厚生大臣官房障害保健福祉部精神保健福祉課長 田中 慶司 東京都衛生局医療福祉部精神保健福祉課長 野津 眞 国立精神・神経センター精神保健研究所長 吉川 武彦 全国保健所長会長 小倉 敬一 全国精神保健福祉相談員会顧問 岡上 和雄 東京武蔵野病院 蜂矢 英彦</p>
参加者数	331名	408人
備考	後援 厚生省、神奈川県、横浜市、川崎市、横須賀市、全国保健所長会、全国精神保健福祉センター長会	後援 厚生省、東京都、全国保健所長会、全国精神保健福祉センター長会

全国精神保健福祉業務研修会開催状況

回数	第23回	第24回
開催期日	平成11年2月25～26日	平成12年2月24～25日
会場	新潟市「新潟グランドホテル」	高知市「高知商工会館」
研修テーマ	21世紀の精神保健福祉業務を問う ～保健所・市町村の明日に向けての取り組み～	精神保健福祉に心を注ぐために ～新法で悩んでみよう地域から～
記念講演	<p>■基調講演 「これからの精神保健福祉行政の展望」 厚生省大臣官房障害保健福祉部精神保健福祉課 課長補佐 阿部 弘樹</p>	<p>■基調講演 「新しい精神保健福祉法の施行を目前にして」 厚生省大臣官房障害保健福祉部精神保健福祉課 課長補佐 滝川 陽一</p>
プログラム	<p>■記念講演 「精神保健福祉相談員に期待すること」 全家連保健福祉研究所長・当会顧問 岡上和雄</p>	<p>■記念鼎談 「精神保健福祉に心を注ぐとは？～新法で悩みな がら～」 大正大学 石川 到覚 日本精神保健福祉士協会 門屋 充郎 大阪府豊中保健所 殿村 壽敏 コーディネーター 田中 英樹</p>
内容	<p>■分科会Ⅰ「受診・受療援助をどう考えるか」 シンポジウム ①埼玉県立精神保健福祉センター 天野 宗和 ②東京都多摩川保健所 宮本 ふみ ③さわ病院長 澤 温 ④東京アドヴォカシー法律事務所 池原 毅和 指定発言 神奈川県相模原保健福祉事務所 三代 浩肆 座長 新潟大学医療技術短大 藤野 邦夫 座長 香川県精神保健福祉センター 芝 明義</p>	<p>■分科会Ⅰ「改正法第34条：移送」 シンポジウム ①弁護士：大阪精神医療人権センター 里見 和夫 ②当事者：横浜市 広田 和子 ③相談員：千葉県安房保健所 田中 康雄 ④指定医：高知県立芸陽病院 橋詰 宏 座長 香川県精神保健福祉センター 芝 明義 座長 高知県立精神保健福祉センター 山崎 正雄</p>
来賓等	<p>■分科会Ⅱ「新潟県の地域精神保健福祉活動」 ビデオ「あちこたねえ」 鼎談 ①新潟県立小出病院 金子 晃一 ②またたびの家 酒井 昭平 ③新潟県小出保健所 本間 道雄 座長 新潟県精神保健福祉センター 後藤雅博 シンポジウム「新潟県守門村での取り組み～あ ちこたねえの世界～」 ①新潟県守門村 山之内 宏 ② " 渡辺 泰子 ③守門村家族会 酒井百合子 ④ボランティア 榎本フサ子 ⑤当事者 佐藤 俊雄 指定発言者 川崎医療福祉大学 真野元四郎 座長 新潟県精神保健福祉センター 後藤雅博</p>	<p>■分科会Ⅱ「ケアマネジメントを学ぶ」 ①東京大学 大島 巖 ②京都府園部保健所 三品 桂子 ③埼玉県立精神保健総合センター 広沢 昇 座長 埼玉県東松山保健所 瀧 誠</p>
	<p>■基礎講座 「生活支援・就労支援活動入門～関係づくり・ 就労支援・生活支援のコツ～」 「地域援助活動入門～作業所・社会復帰施設・ 法人を作る～」 講師 埼玉県立精神保健総合センター 三村 卓巳 川崎市リハビリテーション医療センター 田中 英樹</p>	<p>■分科会Ⅲ「市町村の精神保健福祉活動とネット ワーク」 講演 新潟県精神保健福祉センター 後藤 雅博 実践報告 ①埼玉県三芳町 高橋万紀子 ②静岡県中東遠保健所 水野 洋一 ③高知県梺原町 大崎 光雄 ④大分県大野町 衛藤 浩子 座長 福井県立大学 真野元四郎 座長 新潟青陵女子短期大学 斉藤 敏晴</p>
	<p>■精神保健福祉劇公演「高知の城下へ来てみいや」 高知のメンバー</p>	<p>来賓 厚生省大臣官房障害保健福祉部精神保健福祉課課長補佐 滝川 陽一 高知県知事 大崎 博澄 高知市長 松尾 徹人 全国保健所長会長代理県会長 平井 右助</p>
参加者数	390名	470名
備考	後援 厚生省、新潟県、新潟市、全国保健所長会 全国精神保健福祉センター長会	後援 厚生省、高知県、高知市、全国保健所長会 全国精神保健福祉センター長会

全国精神保健福祉業務研修会開催状況

回数	第25回	第26回
開催期日	平成13年2月22～23日	平成14年2月28日～3月1日
会場	東京都「大正大学」	神奈川県「ロイヤルホールヨコハマ」
研修テーマ	新世紀の地域精神保健福祉にむけて ～いよいよやってきた21世紀、さああなたならどうする～	いよいよやってきた市町村の時代 ～さらなる精神保健福祉の拡充をめざして～
記念講演	■基調講演 「平成14年度法改正にともなう市町村への業務移管について」 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部 精神保健福祉課 課長 松本 義幸	■基調講演 「市町村時代の精神保健福祉」 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部 精神保健福祉課社会復帰対策指導官 須田 勝吉
プログラム	■記念講演Ⅰ 「ケアマネージメントとソーシャルワーク実践」 大正大学人間学部教授 小松 源助	■基調報告 「人権を巡る新たな課題」 国立精神・神経センター精神保健研究所 精神保健計画部長 竹島 正 指定討論 神奈川県立精神保健福祉センター 助川 征雄
内容	■記念講演Ⅱ 「移送規定に関する疑義」 埼玉県立精神保健総合センター総長 渡嘉敷 暁	■分科会Ⅰ 「保健所の現状と今後の取り組み」 ①東京都立多摩精神保健福祉センター 益子 茂 ②東京都豊島区長崎保健所 荻沢 健志 ③神奈川県茅ヶ崎保健福祉事務所 水口ひろ子 ④神奈川県立精神保健福祉センター 佐々川洋子 司会 神奈川県平塚保健福祉事務所 三代 浩肆
来賓等	■分科会Ⅰ 「市町村精神保健福祉業務のあり方をめぐって」 ①埼玉県ひがし武蔵市総合エリア 曾根 直樹 ②長野県波田町保健センター 百瀬 典子 ③宮城県歌津町保健センター 高橋 弘美 司会 新潟大学医療技術短大 藤野 邦夫	■分科会Ⅱ 「新たな市町村業務の展開」 ①埼玉県上尾市障害福祉課 渡辺 繁博 ②神奈川県秦野市市民健康課 鈴木 和彦 ③神奈川県綾瀬市市民健康課 今井美智代 ④群馬県前橋市社会福祉協議会 大竹婦志子 ⑤岩手県久慈市元気の駅ヘルパーステーション 大鹿糠三智子 司会 佐賀大学文化教育学部教授 田中 英樹
	■分科会Ⅱ 「これからの保健所精神保健福祉業務のあり方」 ①静岡市保健所 大石 信弘 ②埼玉県大宮保健所 堀切 明 ③神奈川県平塚保健福祉事務所 三代 浩肆 司会 千葉県調布市 伊東 秀幸	■分科会Ⅲ 「現場発、施策の提言」 「現場発、施策の提言」 ①大阪府立こころの健康総合センター 高良 昇 ②高知県立精神保健福祉センター 田所 淳子 ③横浜市栄福祉保健センター 浜田 房子 ④神奈川県秦野市保健福祉事務所 伊東 秀幸 司会 埼玉県立大学保健医療福祉学部助教授 高畑 隆
	■分科会Ⅲ 「移送問題をめぐって」 ○全国調査報告 医療保護入院等のための移送制度(法34条)に関する調査 埼玉県立精神保健総合センター 佐藤 光正 ①神奈川県立精神保健福祉センター 助川 征雄 ②和歌山市保健所 山本 耕平 司会 石川県南加賀保健福祉センター 荒田 稔	■分科会Ⅳ 「新しい時代の地域生活支援」 ①埼玉県立精神保健総合センター 佐藤 光正 ②埼玉県朝霞保健所 広沢 昇 ③岩手県立精神保健福祉センター 北川 明子
	■特別講演 「みなさまに期待すること」 顧問、藤楓協会理事長 大谷 藤郎	来賓 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部精神保健福祉課 課長 松本 義幸 東京都衛生局医療福祉部精神保健課 課長 本保 善樹 全国精神保健福祉センター長会長代理 江畑 啓介 大正大学人間学部教授 小松 源助
参加者数	453名	476名
備考	後援 厚生労働省、東京都、全国保健所長会 全国精神保健福祉センター長会	後援 厚生労働省、神奈川県、横浜市、 全国保健所長会、 全国精神保健福祉センター長会

全国精神保健福祉業務研修会開催状況

回数	第27回	第28回
開催期日	平成15年2月20日～21日	平成16年2月19日～20日
会場	東京都「大正大学」	沖縄県「沖縄県女性総合センター、パシフィックホテル沖縄」
研修テーマ	市町村時代の展望 ～地域精神保健福祉はいかにあるべきか～	ちゅらちむ心、はぐくむ沖縄研修大会 ～市町村行政と精神保健福祉業務を考える～
記念講演	<p>■基調講演 「精神保健福祉の展望」 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部 精神保健福祉課 課長 松本 義幸</p> <p>■基調講演Ⅱ 「障害者施策の動向」 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部 企画課障害福祉専門官 坂本 洋一</p> <p>■実践報告 「小千谷市の実践」 小千谷市健康福祉課健康センター 保健師 佐藤 久美 司会 藤野邦夫（新潟大学医学部保健学科教授）</p>	<p>■基調講演 「精神保健福祉行政の新たな展開」 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部 精神保健福祉課 植田紀美子</p> <p>■記念講演 「シャーマンと精神医療」 元沖縄県立総合精神保健福祉センター 所長 仲村永徳</p>
プログラム内容	<p>■分科会Ⅰ 「市町村における精神保健福祉活動」</p> <p>①西原町の地域精神福祉活動の実践 沖縄県西原町健康衛生課・保健師 宮里 澄子</p> <p>②小海町の地域精神福祉活動から 長野県小海町役場・保健師 菊池 徳子</p> <p>③薬物依存事例をめぐって 宮城県名取市保健センター・保健師 大友 緑</p> <p>④中核市における保健所の意味 神奈川県相模原市保健所・精神保健福祉士 小池 尚志</p> <p>⑤中核市を目前に動き始めて 埼玉県川越市健康福祉部健康増進課 成田 政弘 司会 石川到覚（大正大学人間学部教授）</p>	<p>■分科会Ⅰ 沖縄県における地域実践報告</p> <p>①「沖縄県における地域精神保健福祉活動の歴史」 沖縄県立総合精神保健福祉センター 仲本政幸</p> <p>②「心のふれあい活動展」～ショッピングセンターで実施して～ 沖縄県中部福祉保健所 比嘉啓子</p> <p>③「社会適応訓練事業の取り組み」 沖縄県北部福祉保健所 野底涼子</p> <p>④「心の輪を広げる集い」20年の歩み 沖縄県南部福祉保健所 友利悦子 司会 高木秀（神奈川県鎌倉保健福祉事務所）</p>
来賓等	<p>■分科会Ⅱ 「現場実践あれこれ」</p> <p>①障害者スポーツ大会の実践 高知県立精神保健福祉センター・精神保健福祉士 田所 淳子</p> <p>②ピアヘルパー養成 埼玉県越谷市役所・精神保健福祉士 行實志都子</p> <p>③社会的入院者退院促進事業の実践 （福）てしま福祉会地域生活支援センター咲笑施設長 精神保健福祉士 野田美沙子</p> <p>②社会的入院者退院促進事業に新たに取り組んで （福）小百合会生活支援センターふれんだむ所長 精神保健福祉士 岩上 洋一 司会 殿村壽敏（大阪府精神保健福祉課・精神保健福祉士）</p>	<p>■分科会Ⅱ 居宅生活支援事業を充実させるために ～障害者の地域生活支援を考える～</p> <p>①「離島における精神保健福祉活動」 久米島町役場・保健師 城間ひとみ</p> <p>②茨城のNPO活動 NPO茨城県精神障害地域ケア研究会 郡司活夫</p> <p>③久留米市の精神保健福祉活動 久留米市保健福祉部障害者福祉課 吉田裕子・寺本葉子 司会 田中英樹（長崎ウエスレヤン大学教授）</p>
	<p>■分科会Ⅲ 「保健所とセンターの実践」</p> <p>①全国市町村・保健所精神保健福祉専従調査速報 埼玉県立精神保健福祉センター精神保健福祉士 佐々木英司</p> <p>②精神科救急情報センター 神奈川県精神保健福祉センター精神保健福祉士 土屋 史雄</p> <p>③引きこもり関連問題 静岡県精神保健福祉センター保健師 青木 知子</p> <p>④新川地域精神保健福祉推進会議の実践 富山県新川厚生センター保健師 木下 慶子 司会 助川征雄（田園調布学園大学人間福祉学部教授）</p>	<p>■分科会Ⅲ 受診援助 ～複雑・困難事例への対応～</p> <p>①人格障害者の受診援助 埼玉県川口保健所・精神保健福祉士 斎藤秀一</p> <p>②乳幼児・思春期を持つ精神障害者への受診援助 高知県東部保健所・精神保健福祉士 田所淳子</p> <p>③ひきこもりケースへの受診援助 千葉県精神保健福祉センター・精神保健福祉士 堀内美穂子</p>
	<p>■分科会Ⅳ 新時代の地域生活支援（改訂全精相版ケアマネジメント） 講師：佐藤光正（埼玉県立精神保健福祉センター）、 広沢昇（埼玉県朝霞保健所）、 北川明子（岩手県立精神保健福祉センター）</p> <p><来賓> 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部精神保健福祉課 課長 松本 義幸 顧問、藤楓協会理事長 大谷 藤郎</p>	<p>■分科会Ⅳ 基礎講座 ～新たに精神保健福祉業務を始めた方に～</p> <p>①精神保健福祉相談 吉備国際大学・教授 芝明義</p> <p>②精神障害者支援の考え方 板橋区赤塚健康福祉センター・精神保健福祉士 長谷川行雄</p> <p>③市町村における精神保健福祉業務 大阪府精神保健福祉課・精神保健福祉士 米田正代</p> <p><来賓> 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部精神保健福祉課 植田紀美子 沖縄県知事、那覇市長</p>
参加者数	394名	189名
備考	後援 厚生労働省、全国保健所長会 全国精神保健福祉センター長会	後援 厚生労働省、沖縄県、那覇市、全国保健所 長会、全国精神保健福祉センター長会

全国精神保健福祉業務研修会開催状況

回数	第29回	第30回
開催期日	平成17年2月17日～18日	平成18年1月6日～7日
会場	東京都「大正大学巣鴨校舎」	静岡県男女共同参画センターあざれあ
研修テーマ	『変わる制度・変わらぬ想い ～市区町村時代の精神保健福祉活動～』	『変わる制度・変わらぬ想い』 ～どうする！どうなる？精神保健福祉活動～
記念講演	<p>■基調講演「我が国の精神保健福祉における新たな動向」 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部 企画官 北川博一</p>	<p>■基調講演「障害者自立支援法施行を目前にして～これからの精神保健福祉の展望～」 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部 課長補佐 鷲見 学</p>
プログラム	<p>■シンポジウム「医療観察法と行政の役割～施行を目前にして」 ○法務省さいたま保護観察所 法務事務官 宇津木朗 ○国立精神・神経センター武蔵病院 精神保健福祉士 三澤孝夫 ○大阪府精神保健福祉課 精神保健福祉士 殿村壽敏 司会 千葉県習志野健康福祉センター 精神保健福祉士 金田一正史</p>	<p>■特別報告「災害時に当事者が何を望んでいるか～自治体に問われていること～」 報告1 大規模災害発生時の在宅精神障害者とその家族の支援のための基礎的研究 静岡県調査研究メンバー 報告2 静岡県災害マニュアルについて 静岡県 司会 鹿児島県加世田保健所 笹川純子</p>
内容	<p>■特別講演「災害時における外傷性ストレスとそのケア」 東京都精神医学総合研究所・教授 飛鳥井望</p>	<p>■シンポジウム「障害者自立支援法と自治体の取り組み」</p>
来賓等	<p>■分科会1「大規模自然災害時における自治体活動」 ○東京都精神医学総合研究所 教授 飛鳥井望 ○新潟県精神保健福祉センター 所長 福島昇 ○兵庫県精神保健福祉センター 精神保健福祉士 藤田昌子 ○新潟県長岡地域振興局健康福祉環境部 精神保健福祉相談員 島田知子 司会 藤野邦夫（新潟大学医学部保健学科教授）</p> <p>■分科会2「退院促進とコミュニティワーク」 ○埼玉県障害者福祉課 精神保健福祉士 藺田剛史 ○埼玉県越谷市役所障害福祉課 精神保健福祉士 行実志都子 ○地域生活支援センターふれんだむ 所長・精神保健福祉士 岩上洋一 司会 荒田稔（石川県こころの健康センター）</p> <p>■分科会3「市区町村の現状と課題～本音トーク」 ○千葉県八千代市障害者支援課 看護師 藤山ミツ子 ○埼玉県杉戸町役場福祉課 保健師 塚原芳江 ○東京都板橋区立赤塚健康福祉センター 心理 長谷川行雄 司会 大石信弘（静岡市保健所）</p> <p>■特別企画！行列の出来る相談室 ○埼玉県障害者福祉課 精神保健福祉士 埴和徳 ○高知県東部保健所 精神保健福祉士 田所淳子</p> <p>■記念講演「変わる制度・変わらぬ想い」 埼玉県立精神保健福祉センター 精神保健福祉部長 天野宗和 <来賓>なし</p>	<p>○静岡市保健所 精神保健福祉士 大石信弘 ○水戸市精神障害者地域生活支援センター 施設長 小菅正博 ○新潟市保健所 精神保健福祉士 足立亮子</p> <p>司会 柴山久義 (静岡県中部健康福祉センター 精神保健福祉士)</p>
参加者数	244名	133名
備考	後援 厚生労働省、東京都、全国保健所長会 全国精神保健福祉センター長会	後援 厚生労働省、静岡県、静岡市、 全国保健所長会、全国精神保健福祉センター長会

全国精神保健福祉業務研修会開催状況

回数	第31回	第32回
開催期日	平成19年1月25日～26日	平成20年2月7日～8日
会場	川口市民ホール「川口フレンディア」	石川県山代温泉「瑠璃光」
研修テーマ	障害者福祉の変革期 立ち止まろう・振り返ろう「精神保健福祉相談の原点回帰！」	「こころのケア」を考える in ほっと石川 ～自然・人的災害等への危機介入～
記念講演	<p>■特別講演「社会保障改革と精神保健福祉の今後」 国立社会保障・人口問題研究所 京極高宣</p>	<p>■基調講演「災害時支援における行政の役割」 厚生労働省 社会・援護局精神・障害保健課 課長補佐 名越 究</p>
プログラム	<p>■シホジウム「あらためて精神保健福祉相談を考える」 ○三郷市障害者福祉課 岡田美奈子 ○三郷市 福祉課 柿沼昌弘 ○社会福祉法人川の郷福祉会 萩 礼子 ○越谷保健所 藺田剛史 司会：富田林保健所 殿村 壽敏 東京福祉大学 行実志都子</p>	<p>司会：さいたま市保健所 埴 和徳</p> <p>■記念講演「地域ケアにおける精神保健福祉のあり方！」 兵庫県健康生活部健康局局長 高岡 道雄</p> <p>司会：大阪府こころの健康総合センター 殿村 壽敏</p>
内容	<p>■分科会1「障害者自立支援法の中での各自治体の取り組み」 ○小松市ふれあい福祉課 枘野喜代美 ○河内長野市障害福祉課 城戸 真理 ○八千代市障害者支援課 鈴木 知恵 ○川口市障害福祉課 遠藤哲一郎 司会：飯能市福祉課 山本 賢 県立精神保健福祉センター 佐々木英司</p>	<p>■特別報告 ～精神科病院を廃止したイタリア・トリエステの視察報告 地域で当たり前のように生活する、そんな「受け入れる」地域を考えよう！～ 鹿児島県南薩地域振興局地域保健福祉課介護指導係 笹川 純子</p>
来賓等	<p>■分科会2「今後の保健所における地域保健福祉活動を考える」 報告○一宮保健所稲沢支所 船崎 初美 話題提供○常総保健所 大竹由美子 市川健康福祉センター 金田一正史 指定発言○所沢市保健センター 小野寺 健 市の立場から○朝霞市保健センター 菅田 恵子 司会：県立精神保健福祉センター 齊藤 秀一 松戸健康福祉センター 大澤日登美</p> <p>■全体会「総括」 司会：全国精神保健福祉相談員会副会長 荒田 稔</p>	<p>第2日目</p> <p>■実践報告 「突然の災害での危機介入」 ～日ごろの体制整備と初動体制について考える～ 座長 石川県こころの健康センター所長 清田 吉和</p> <p>報告者 ・石川県能登北部保健福祉センター 川本 晶広 ・輪島市福祉環境部 健康推進課 毎田 純子 ・新潟県精神保健福祉センター 細野 純子 ・兵庫県尼崎市保健所 鈴 道幸</p> <p>■パネルディスカッション 「地域精神保健福祉とコミュニティ形成」 ～それぞれの実践から学べること～</p> <p>コーディネーター 石川県こころの健康センター 荒田 稔</p> <p>石川大会総括</p>
参加者数	129名	約100名
備考	後援 埼玉県、川口市、 全国保健所長会、全国精神保健福祉センター長会	後援 石川県 加賀市 全国保健所長会 全国精神保健福祉センター長会

全国精神保健福祉業務研修会開催状況

回数	第33回	
開催期日	平成21年1月10日～11日	
会場	東京都立中部総合精神保健福祉センター	
研修テーマ	あらためて地域支援を考える	
プレ企画 講演等 プログラム 内容	<p>講義 「現代のうつ病の基礎理解と復職支援」 東京都立中部総合精神保健福祉センター 生活訓練科長 菅原誠（医師）</p> <p>■基調講演 「今後の精神保健医療福祉のあり方等に関する検討会報告」 厚生労働省 社会・援護局障害保健福祉部 精神・障害保健課 課長補佐 林修一郎（医師）</p> <p>■記念講演 「医療機関の実感と精神保健福祉行政の課題—あいがたりない—」 東京都福祉保険局障害者施策推進部 参事・障害医療担当 菊本弘次（医師）</p> <p>■シンポジウム 「受診援助の現状と課題～援助者が抱えるジレンマ～」 コーディネーター 大阪府こころの健康総合センター 殿村壽敏（精神保健福祉士） シンポジスト 東京都立中部精神保健福祉センター 井上悟（医師） 林智子（看護師） 品川区保健センター 荒居詩織（保健師）</p> <p>■分科会1 「地域移行支援（退院促進）について」</p> <p>○報告 東京都地域移行支援事業の現状と課題 東京都精神保健・医療課 橋本雅美（保健師） 東京都特別区西部地域の取組み 練馬区保健予防課 高橋律子（保健師） 東京都特別区東部地域の取組み 江戸川区精神保健係 鶴岡恵子（保健師） 東京都多摩地域の取組み 東京都多摩小平保健所 原小百合（保健師） 川崎市（政令市）の取組み 川崎市精神保健福祉センター 谷浩昭（社会福祉職）</p>	<p>■分科会2 「思春期・青年期相談その1」</p> <p>○講義 「発達障害の疾患基礎理解」 都立精神保健福祉センター 田中祐（医師）</p> <p>○報告 「広汎性発達障害の成人グループにおけるコミュニケーションプログラム」 都立精神保健福祉センター 野津いなみ（心理）</p> <p>「ひきこもり家族支援」 板橋区保健所 徳丸享（心理）</p> <p>「思春期青年期の高次脳機能障害に対するデイケアの取り組み」 都立中部総合精神保健福祉センター 生活訓練科 川田深志（医師）</p> <p>「自殺予防対策の実践～市町村における自殺予防対策事業について～」 川越市保健所 富田雅子（保健師）</p> <p>■研修「パワーアップ精神保健福祉相談」 「相談援助における関わりのベクトル」 都立多摩総合精神保健福祉センター 水野徹（看護職）</p> <p>「ケアをつなぐ」 都立中部総合精神保健福祉センター 鈴木雄幸（看護職）</p> <p>「効率の良い相談業務と快適な職場内環境を目指して」 埼玉県越谷保健所 藺田剛史（精神保健福祉相談員）</p> <p>■報告「高齢者の地域生活支援」 「高齢者の虐待防止への支援」 都立松沢病院 社会復帰支援室 鈴木朝子（精神保健福祉士）</p> <p>「医療拒否の強い認知症等、困難事例への支援」 都立中部総合精神保健福祉センター 高齢者医療班 田川悦子（保健師）</p>
参加者数	350名	
備考	後援 厚生労働省・全国保健所長会、全国精神保健福祉センター長会	

全国精神保健福祉業務研修会開催状況

回数	第34回	第35回
開催期日	平成22年1月9日～10日	平成23年2月11日～12日
会場	鹿児島県市町村自治会館	品川区荏原文化センター
研修テーマ	燃ゆる想い！みんなでつなごう地域支援	これからの精神保健福祉と私たちの役割 ～今求められる相談支援とは！～
記念講演	<p>■基調講演「今後の精神保健・医療・福祉のあり方について」 厚生労働省 社会・援護局障害保健福祉部 精神・障害保健課 課長補佐 林修一郎</p>	<p>第1日目 ■プレ企画 「精神保健福祉法第24条、25条、26条通報の運用実態について」－触法精神障害者に対する自治体の対応に関するアンケート調査より－ 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 精神保健計画部長 竹島正（医師）</p>
プログラム	<p>■シンポジウム 「社会的入院者解消に向けた鹿児島県の取り組み」 座長：富永 秀文 鹿児島県精神保健福祉センター シンポジスト 鹿児島県の精神保健医療福祉の現状について 鹿児島県保健福祉環境部障害福祉課 精神保健福祉対策監 新塘 久美子（保健師） 鹿児島市の精神保健福祉の取り組み 鹿児島市保健所保健予防課保健対策係長 兒島 淳子（保健師） 家族会の地域を巻き込んだ取り組み 社会福祉法人 就労継続支援施設 ルピナス 小蓬原 昭男（事務局長）</p>	<p>■講演Ⅰ「精神保健医療福祉の課題と展望」 講師 厚生労働省 社会援護局 障害保健福祉部 精神・障害保健課 課長補佐 川島邦裕（医師） ■講演Ⅱ「はたしてどうなる？これからの精神保健医療」 講師 国立病院機構 仙台医療センター 精神科部長 岡崎伸郎（医師）</p>
来賓等	<p>第2日目 ■分科会1 I-1講演：学校精神保健と地域ネットワーク 橋口 知 鹿児島大学教育学部 I-2パワーアップ！精神保健福祉相談 遠藤 悦夫 東京都品川区保健所</p> <p>■分科会2 地域移行支援の進め方 II-1講演： 『コーディネーターや地域移行推進員の役割』～彼らは何をしたら良いのか～ 行實志都子（文京学院大学） 事例発表 笹原 利恵 精神保健福祉士（鹿児島県出水市地域活動支援センター 集）</p> <p>■シンポジウム「自殺対策の実践」 関係機関を動かす仕組みづくり 宇田英典（鹿児島県鹿屋保健所 所長） 篠原和子（鹿児島県日置市保健師） 重久桐子（鹿屋保健所健康企画課保健師） 良原誠崇（鹿児島大学大学院臨床心理学研究科特任助教） 助言者 竹島 正 （国立精神・神経センター 精神保健計画部長）</p>	<p>第2日目 ■分科会Ⅰ「未受診・医療中断者への相談支援」 ～万策尽きたとき、どうするか？～ ●各地からの現場報告 1. 県型保健所における取り組み 新潟県長岡地域振興局健康福祉環境部地域保健課 高橋ひとみ（精神保健福祉相談員） 2. 措置権限を持たない中核市保健所における取り組み 柏市保健所保健予防課 堀内美穂子（精神保健福祉士） 3. 措置権限を持つ中核市保健所の取り組み 高知市保健所地域保健課 中石良子（保健師）、小原牧（保健師） コメンテーター 東京都中部総合精神保健福祉センター 保健福祉部長 井上悟（医師） ●講演「相談支援活動における法的遵守」 講師 野田・相原・石黒・佐野法律事務所弁護士 石黒清子（弁護士） 指定発言 京都府精神保健福祉総合センター 相談指導課 金子和夫（精神保健福祉士）</p> <p>■分科会Ⅱ「成人の発達障害のアセスメントと危機介入をめぐる」 講師 山梨県立精神保健福祉センター所長 近藤直司（医師）</p>
参加者数	176名	270名
備考	<p>共催 鹿児島県精神保健福祉センター 後援 全国保健所長会、全国精神保健福祉センター長会</p>	<p>後援 全国保健所長会、全国精神保健福祉センター長会、品川区、</p>

全国精神保健福祉業務研修会開催状況

回数	第36回	第37回
開催期日	平成24年2月11日～12日	平成25年2月9日～10日
会場	京都府京都市「京都平安ホテル」	東京都品川区荏原文化センター
研修テーマ	再考、自治体の精神保健・福祉 ～変わりゆくもの 変わらぬもの～	ここが最前線！ ～精神保健福祉の現在～
記念講演	<p>■講演1 「これからの自治体の精神保健福祉業務」 厚生労働省 社会・援護局障害保健福祉部 精神・障害保健課 課長補佐 友利久哉</p>	<p>■講演1 「精神保健福祉法改正に向けたこれまでの検討状況と自治体における精神保健福祉業務の今後」 厚生労働省 社会・援護局障害保健福祉部 精神・障害保健課 心の健康づくり対策官 河島謙</p>
プログラム内容	<p>■講演2 「成人の広汎性発達障害とパーソナリティ障害」 国立大学法人 京都大学大学院 医学研究科 教授 十一 元三（医師）</p>	<p>■講演2 「パーソナリティ障害(PD)の対応と治療：境界性PDを中心として」 東京都立松沢病院 精神科部長 林直樹（医師）</p>
来賓等	<p>第2日目 ■講演3 「今後の法改正によって自治体の精神保健福祉業務はどうなるのか？」 東日本国際大学 教授 天野宗和（精神保健福祉士）</p> <p>■分科会1 「アウトリーチをすすめるために」～地域生活を訪問で支援する～ 話題提供 京丹後市健康長寿福祉部障害福祉課 吉田千春（主任保健師） 京都市西京保健センター 中村育子（精神保健福祉相談員） 京都府中丹東保健所高田亮（精神保健福祉相談員） 助言者 京都ノートルダム女子大学 准教授 佐藤純</p> <p>■分科会2 「市区町村時代の成果と苦悩」～障害者自立支援法がもたらした光と影～ 話題提供 埼玉県飯能市福祉部障害者福祉課 主査 山本賢 大阪府豊中市健康福祉部地域福祉室 主幹 松山とも代 神奈川県相模原市精神保健福祉センター 主幹 小池尚志 助言者 東日本国際大学 教授 天野宗和</p> <p>■分科会3 「医療観察制度・地域処遇の成果と課題」 企画・話題提供 大阪保護観察所 主席社会復帰調整官 殿村壽敏 話題提供 宇都宮保護観察所 社会復帰調整官 埜和徳 広島保護観察所 統括社会復帰調整官 森山一寿 大阪府立精神医療センター 精神科ソーシャルワーカー 高橋敬</p>	<p>第2日目 ■パネルディスカッション 「保健所・市区町村における精神保健福祉活動のこれから」 座長 高知県中央西福祉保健所 健康障害課 田所淳子（精神保健福祉士） パネラー 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 精神保健計画研究部長 竹島正（医師） 鹿児島県鹿児島地域振興局保健環境福祉部長（兼） 鹿児島県伊集院保健所長 宇田英典（医師） 千葉県精神保健福祉センター 審査課長 金田一正史（精神保健福祉士） 大阪府河内長野市障がい福祉課 城戸真理（精神保健福祉士）</p> <p>■分科会1 「市区町村における精神保健福祉業務の実際」 話題提供 神奈川県平塚市障がい福祉課 高橋宏彰（精神保健福祉士） 埼玉県所沢市保健センター 小野寺健（精神保健福祉士） 助言者 鹿児島県鹿児島地域振興局保健環境福祉部長（兼） 鹿児島県伊集院保健所長 宇田英典（医師）</p> <p>■分科会2 「措置業務・通報制度をめぐる現状と課題」 話題提供 埼玉県立精神保健福祉センター 河本次生（精神保健福祉士） 京都府中丹東保健所福祉室 家原敏彰（精神保健福祉士） 助言者 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 精神保健計画研究部長 竹島正（医師）</p>
参加者数	303名	265名
備考	後援 厚生労働省、京都府、京都市 全国保健所長会、 全国精神保健福祉センター長会	後援 厚生労働省、全国保健所長会 全国精神保健福祉センター長会

全国精神保健福祉業務研修会開催状況

回数	第38回	第39回
開催期日	平成26年2月1日～2日	平成27年2月7日～8日
会場	横浜社会福祉センター	京都教育文化センター
研修テーマ	開港の地ヨコハマから精神保健福祉行政の航路を見いだす	京都、新たな精神保健福祉路を歩む～地域精神保健福祉ビジョンを想い、精神保健ニーズを捉え直す～
記念講演	第1日目 ■講演1 「精神保健福祉法改正と今後の改革に向けて」 厚生労働省 社会・援護局障害保健福祉部 精神・障害保健課 地域移行専門官 片山 聡子 ■講演2 「精神保健福祉法改正と権利擁護」 東京アドヴォカシー法律事務所 弁護士 池原 毅和 東洋大学ライフデザイン学部 教授 白石 弘巳 ■意見交換	第1日目 ■講演1 「これからの精神保健・医療・福祉と自治体の役割」厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部精神・障害保健課 課長補佐 諸富 伸夫 ■報告 「改正精神保健福祉法施行後の状況について」 全国精神保健福祉相談員会 ■基調講演Ⅰ 「精神保健福祉法改正後の精神医療」京都府立洛南病院 院長 山下 俊幸 ■基調講演Ⅱ 「地域精神保健福祉における行政の役割」 兵庫県但馬県民局豊岡健康福祉事務所 豊岡保健所長 柳 尚夫 ■パネルディスカッション 「これからの精神医療と地域精神保健福祉ビジョン」 座長 全国精神保健福祉相談員会 会長(千葉県精神保健福祉センター) 金田一 正史 パネラー 京都府立洛南病院 院長 山下 俊幸 兵庫県但馬県民局豊岡健康福祉事務所 豊岡保健所長 柳 尚夫 早稲田大学人間科学学術院教授 田中 英樹 全国精神保健福祉相談員会 副会長 齋藤 秀一 全国精神保健福祉相談員会 理事 山本 賢
プログラム内容	第2日目 ■分科会1 「どう向き合うか、措置業務（警察官通報を中心に）」 司会 京都府中丹東保健所 家原 敏彰 埼玉県精神保健福祉センター 河本 次生 パネラー 鹿児島県保健福祉部障害福祉課 川崎 誉代 香川県東讃保健福祉事務所 田村 真佐司 愛知県知多保健所 中村 征人 静岡県 静岡市保健所 前林 勝弥	第2日目 ■分科会1 「通報業務の現状と課題 ～今、目の前で起きていること～」 ・特別報告「満たされていないニーズの存在～最新の調査から見えてくるもの～」 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神保健計画研究部長・自殺予防総合対策センター長 竹島 正 氏 ・「措置業務 de ワールドカフェ」 テーマ：私達が大切にしている視点を活かす～措置通報業務でできること～ ・基礎から学ぶ措置通報業務 埼玉県立精神保健福祉センター 河本 次生 ■分科会2 「法改正後の市区町村精神保健業務の変化 ～今、地域は～」 趣旨説明 全国精神保健福祉相談員会 副会長 松山 とも代 実践報告 ・地域と医療で支えるアウトリーチ 和歌山市保健所 松岡 信一郎 ・地域生活中心へ～法改正を踏まえた姫路市保健所の取り組み～ 姫路市保健所 藤井 宏昭 ・保護者制度廃止後の市長同意の現状と課題 川口市障害福祉課 岡本 秀行 ・小規模地域における精神保健福祉業務 綾部市福祉課 吉松 正人 テーマ別グループワーク
来賓等	助言者 (独)国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 精神保健計画研究部長 自殺予防総合対策センター長 竹島 正 ■分科会2 「市町村における精神保健福祉業務を明確化する」 はじめに 大阪府 豊中市保健所 松山 とも代 司会 埼玉県 川越市保健所 齋藤 秀一 報告者 埼玉県 久喜市中央保健センター 中繁 佳代氏 「精神障害者にまつわる医療との連携」 東京都品川区保健所品川保健センター 遠藤 悦夫 「品川区の精神保健福祉業務 いかにもニーズに えるか」 青森県 青森市保健所 波田野 隼也 「中核市における保健所精神保健福祉業務」 助言者 神奈川県立保健福祉大学社会福祉学部 准教授 行實 志都子	■海外視察報告 「青少年の自立への支援～不登校やネット依存症等への家庭・学校・地域での取り組みを学ぶ～」 副会長 田所 淳子
参加者数	292名	279名
備考	後援 厚生労働省、京都府、京都市 全国保健所長会、全国精神保健福祉センター長会	後援 厚生労働省、京都府、京都市、全国保健所長会、全国精神保健福祉センター長会

